

夏－5 吹田へようこそ

1. 活動の目的

- ①相手を思いながら自分の生活圏を案内するプランを作る。
- ②相手に喜んでもらう、自分の気持ちを伝えるにはどうすれば良いか考える。
- ③情報（地図、時刻表、路線図）を集めて、計画を立てる。

2. 準備するもの（☆は教材ファイルにあるもの）

☆吹田市街地図

☆吹田観光リーフレット（鉄道の路線図）

・ふせん

3. 活動の手順

発：発展的活動 **留**：留意点 **参**：参考

活動1

吹田市街地図

吹田観光

リーフレット

ふせん

- ・エリーが書き出したメモから、学習者それぞれの考えで行き先を選ぶ。
- ・その際に、どうやって行くかを地図や路線図を見て順番を考える。
- ・7ヶ所（5、7は実在しない）の内からいくつ選ぶかは、学習者に任せる。
- ・それぞれのオススメ計画ができたなら、どうしてその計画にしたか話す。理由等については、ここでは簡単にすませる。

（活動3で、しっかり話す。）

- ・目的地の漢字をもとに、地図を読む練習をする。地図に慣れる。
- ・自分の住んでいる所が、地図上でどこにあるか確認する。
（学習者の中には、知らない人も多い。）
- ・地図では大体の位置関係がわかる程度が良い。

参 鉄道の所要時間については大体の時間で良い。

スマホ等で検索できる学習者がいれば、やってみる。（強制はしない。）

活動2

- ・学習者がエリーさんのような経験をしたことがあるか、その時に、良かったこと、楽しかったこと、美味しかったものを思い出して話してもらう。
- ・思いがけないこと、例えば失敗談が出てきたら、それも参考になるので詳しく聞いてみる。
- ・吹田での経験のない人には想定の話でも良いし、他の場所を案内した経験があればそれでも良い。

活動3

吹田市街地図

吹田観光リー

フレット

ふせん

- ・まず具体的に「誰」を案内するか決めて、その人に喜んでもらえるプランを作る。
- ・吹田市内だけで難しければ、その近隣でも構わない。
- ・活動1のエリーさんのプランと同じ要領で、ふせんに書いて貼り、回る順番を決める。

活動4

参 連れて行きたい所が思いつかないようなら、
「誰を連れて行くの?」「どこか見てほしいところはない?」
「日本の食べ物で、一緒に食べたいものはない?」
「その人は買い物が好き?」
等と聞いて、アイデアを引き出すようアドバイスする。

- ・各自、誰を案内するか、どうしてそのプランになったか説明してもらおう。
- ・ここで大事なのは、
「誰のためのプランか」
「どうしてそこへ連れて行きたいか」
「どうしてそのようなプランにしたか」
なので、それらを詳しく聞く。
- ・グループ内で発表して、それぞれ質問をしたり、感想を言い合う。

発 時間や余裕があれば、

- ① 交通費を調べる、
- ② 経路に選択肢があれば、交通費や時間で比較してみる。
- ③ 違う人を想定して、また別のプランを考える。